

イベントのお知らせ

## 2016 ふそう まちづくり交流会

■日時 3月19日(土)

午後1時～3時45分

■会場 扶桑町中央公民館講堂

主催:扶桑町住民活動支援センター運営機構・扶桑町

住民活動団体による

### 「活動事例発表会」ほか

講演会 講師 宗次徳二 氏

「助け合いこそが

心と人生を豊かにする」



CURRY HOUSE  
CoCo壱番屋 創業者

宗次 徳二 氏

1948年石川県生まれ。1978年カレーハウスCoCo壱番屋創業。2002年に代表取締役会長を引退。2003年NPO法人イエロー・エンジェル設立。2007年宗次ホールオープン。2013年NPO法人クラシック・ファン・クラブ設立。

入場無料  
要整理券

3月2日～ぶらねっと扶桑、各学習等供用施設にて整理券配布  
(お一人様2枚まで)

■お問い合わせ ぶらねっと扶桑(中央公民館1階) TEL・FAX 75-3082  
9～12時、13～16時(日・火・祝休み)

今こそ考えよう  
まちづくり

## ぶらねっとジャーナル

planet journal vol. 1(創刊号)

扶桑町住民活動支援センター 会報誌

平成28年3月1日発行  
扶桑町住民活動支援センター  
運営機構

〒480-0107 扶桑町高木稻葉63 扶桑町中央公民館内  
電話/FAX 0587-75-3082  
E-mail planet-fuso@md.ccnw.ne.jp  
http://planet-fuso.seesaa.net

会報誌“ぶらねっとジャーナル”創刊に寄せて

皆様には、日頃から扶桑町住民活動支援センター(愛称:ぶらねっと扶桑)の運営にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、本センターの会報誌創刊号を発行させていただく運びとなりました。この会報誌には、センターからの情報発信のための重要なツールとして、活動団体のご紹介や行事の予定などを住民活動に関するさまざまなニュースを掲載させていただく予定であります。今後とも本会報誌を末永くご愛読賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

さて、扶桑町住民活動支援センターは、住民活動を支援し、まちづくりのための協働拠点として昨年7月にオープンいたしました。振り返りますれば、平成18年10月に「扶桑町住民の活動及び協働の推進に関する条例」が施行されたことが発端となり、平成25年から約2年間にわたり住民有志の皆様と本格的な議論を重ねた末に行政機関のご指導を得て設立に至ったのが経緯であります。

今後とも、本センターに求められている三つの機能「出会いふれあいの場」「つながりの場」「活動サポートの場」をご提供することにより、皆様には新たな出会いと交流の拡大が実現できますことをお約束申し上げます。

最後になりましたが、今後とも本センターの運営のご理解と更なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「扶桑の歴史文化を探る」 悟溪屋敷って何?

室町時代の禪僧、悟溪宗頓の出生地で寛永7(1630)年に建立された「悟溪宗頓和尚生誕地」と刻まれた石塔が残っている。

悟溪は若くして犬山の瑞泉寺に隋侍し、雪江宗深(第六祖)のもとで印証を得たといわれる。その後、犬山の山中に臥龍庵を構えて老師の補佐につとめ、さらに瑞泉寺に入寺し応仁2(1468)年開山に迎えられた。三年後の文明3年には後土御門天皇から「十刹」に准ずる論旨を下賜されている。悟溪は56歳で大徳寺に開堂し、その後瑞泉寺に入り、のちに余野の徳林寺の開山に迎えられるなど、濃尾地方の教化に努めた。明応6(1497)年には、時の天皇から「大興心宗禪師」の称号を下賜された、ときに82歳、弟子である「八哲」の法嗣に恵まれ明応九年、瑞泉寺内の濟北院で静かにこの世を去ったと言われている。世寿85歳であった。※所在地は南山名の悟溪寺



ぶらねっと扶桑って  
どんなとこ?

これまでに  
こんな活動をしました!!

交流

27年7月25日(土)

ふそう まちづくり協働フォーラム

約180名が参加。梶山女学園大学教授  
武長脩行氏による講演と活動テーマ別の  
グループディスカッションが行われまし  
た。



講座・研修

27年12月14日(月)

住民活動のための

情報発信パワーアップ講座

27名が参加。講師は東大手の会代表  
世話人の青木研輔氏。インターネット  
ツールの説明や住民活動を広めるため  
の活用法を学びました。



相談

会計、助成金、会員募集等、活動に  
おけるあらゆる相談。

活動を始めたい個人の相談。

広報

団体活動状況やイベントの案内  
をHPや掲示板を通じて紹介。  
近隣市町の協働イベント案内。

紹介

27年11月～28年1月  
住民活動一日体験入門

何かを始めてみたいと考え  
る住民の方々が、興味のある  
活動団体で一日体験をしま  
した。また、参加者の約  
半数が本格的に活動に加わ  
りました。



マッチング

自治会、老人会等の行事へ  
の団体(人材)派遣。

その他

イベント開催時の  
チケット取り次ぎ  
代行。  
愛知県のNPO情  
報の提供。

こんな事もやっています!!

住民活動コーディネーター派遣制度  
の申し込み取り次ぎ

この制度は、住民活動を支援するため、扶桑町内  
で住民活動を行っている、あるいは計画している  
方(団体)からの要請に応じ、住民活動に関する知  
識及び経験を有する専門家を派遣して、住民活動  
に関する情報や知識の普及及び住民活動への支  
援を行うものです。

扶桑町出前講座講師派遣申込書の配布

扶桑町では、町の職員などが、皆さんの地域や集会  
などに出向き、町政の取り組みや内容などをお話  
しする「扶桑町出前講座」を行っています。町内に  
在住、在勤、在学の方ならどなたでも利用できま  
す。(但し10人以上の団体)町内会、子ども会、老  
人クラブやサークル、学校など、どんな集会でもお  
伺いします。

登録団体の紹介

団体名	活動内容
(N)スペイス・21	障がい者高齢者が多様な活動において能力を発揮し得るよう場を設け、共に生きがいを持って歩むことを目的に活動。
やろまい・扶桑	まつりを通して地域住民の交流及び活動の機会を持ち、扶桑町全体の活性化に寄与する。
防災ボランティアD・サポート丹羽	地域社会の防災活動の支援を図り、災害に強いまちづくり活動の推進。
扶桑町多文化共生センター	日本語教育。国際交流、文化交流。地域在住の外国人に対し、日本語及び日本の習慣等を学び教える。
わっと楽らくスポーツふそう	市民が力を合わせ、スポーツによる元気なまちづくりをすすめる。
扶桑中高年料理同好会	中高年の料理教室。ボランティア活動。
扶桑セイロン瓜プロジェクト	スリランカ原産のセイロン瓜を使った町おこし。
ねこさと～nyamuzu company～	飼い主のいない猫の不妊・去勢手術、里親募集の活動。
ふそう災害ボランティアセンターの会	土のう積から始め、これから起こりうる災害に備え、勉強会や訓練を行う。
扶桑の福祉を考える会あんばよう	古民家を活用し民俗資料館と地域回想法センターを併せた施設づくり。サロン活動等により健康寿命を延ばし生き生き元気なまちに。
朗読グループ あいうえお	朗読を楽しみながら技術向上に努める。子供の集まりや老人ホームを訪ねて読み聞かせ。目の不自由な方のために広報のテープ録音。
花・花の会	花の特徴を学習しながら、鉢の寄せ植えや花壇作りの手伝いをし、町内の植栽・彩り作りに貢献する。
歌謡舞踊マジックIMVC	メンバーそれぞれの持ち芸を生かし、人と人のふれあいを深め、孤立・孤独化・閉じこもりにならない環境をめざす。
シェアサポート和ごころ	「もったいない精神」から生まれる活動から消費者や地域の経済を応援し、子どもの健全育成に関する活動を行うことで、明るい未来をつくりたい。
扶桑混声合唱団	地域の方からの要望を受けて、イベントで合唱をボランティアで行います。合唱を通して地元の人に音楽の楽しさを伝えたいと考えています。
扶桑読書会	読書愛好の者が集い読書を通じて学びあう。
南山名扇太鼓	太鼓の音色を楽しみ、地域の活性化に少しでも役に立てたらと思って活動しています。
柳街道保存会	柳街道(岩倉街道)にまつわる文物保存とPRを行い、町の歴史を次世代へ受け継いでいきます。
(N)ママ・ちょこ	あらゆる人々を対象に、こどもの健全育成に関する事業を行い、こどもの成長及び保護者の子育てに関する環境の改善を図ることで、こどもを産み育てやすい、こころ豊かなまちづくりに寄与する。
扶桑町赤十字奉仕団	赤十字の博愛・人道の精神に基づき、明るく住みよい社会を築くために必要な奉仕活動をする。
扶桑愛蚕会	「扶桑」の語源にもなった養蚕やカイコのことを地域で末永く語り継いでもらいたいと考えています。実際に見て、触れて、知ってもらうことをモットーとして取り組んでいきます。
ハーモニカ ラプソディー 80 ハチマル	ハーモニカの演奏技術の交流・向上。会員相互の親睦。地域行事への協賛出演や福祉施設でのボランティア。
福塚祭ばやし保存会 青年部	福塚祭ばやしの、若者たちの手による発展、継承を目的としています。定期的に祭ばやしの練習をし、行事に参加しています。

※登録順

平成28年1月15日現在

今後は、詳しい団体紹介を順次掲載する予定です。お楽しみに!